

LEGAL FRONTIER

Helfrontier

OBERON

KOTC

Best Gear

Keele

dokka Sapporo

MAVIC

CATACLEAN

大塚技研

Kingelt

KTM



RACE REPORT

SuperTaikyū
Japanese Endurance Race

2023 Round.06

OKAYAMA

Qualify : OCTOBER 21 / 1st RACE: OCTOBER 22 / 1st

PRACTICE

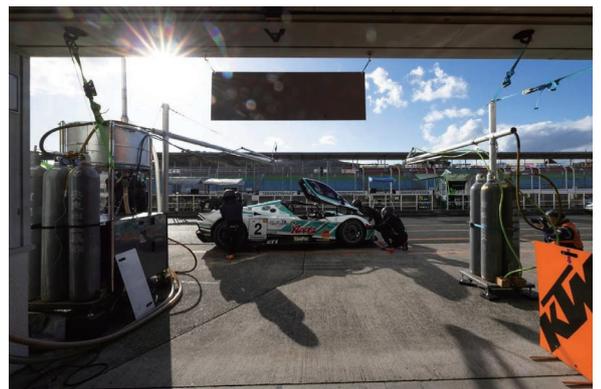
OCTOBER 19- 20 [THU/FRI] FINE / DRY - CLOUDY&RAIN / WET

2023年のスーパー耐久シリーズは残すところ2戦。シリーズ第6戦の舞台は、岡山県の岡山国際サーキットだ。コース長も短く、グループ1/2と分かれての3時間レースで戦うことになる。

シンティアム アップル KTMは第1戦鈴鹿こそトラブルで失ったものの、その後は3連勝を飾りシリーズをリードしているが、ライバルとなる#47 アストンマーティンもポイントでは僅差。最終戦まで気を抜けない戦いが続く。そんな一戦に向け、チームは今回もDドライバーとして吉本大樹を継続して登録。基本的にレースを戦う予定はしていないが、バックアップとして井田太陽/加藤寛規/高橋一穂の3人の走りを支えていくことになった。

迎えたレースウィークは10月19日(木)に行われた午後1時20分からの1時間、午後3時45分からの1時間という2回の特別スポーツ走行で幕を開け、まずは加藤がドライブしセットアップを進めていき、10月20日(金)は午前11時から行われた専有走

行で井田と高橋がドライブしていった。ただ、ここ数戦と同様高橋のタイムがいまひとつ良くない状況だ。「今回は3時間レースで均等割りて戦う予定ですが、高橋さんのペースが重要になりますね」と渡邊信太郎エンジニア。ただ、予選日となった10月21日(土)の午前10時20分から行われたフリー走行では、その課題も改善方向に進んでいった。



PETRONAS
Syntium

QUALIFY

OCTOBER 21 [SAT] FINE / WET-DRY

10月21日(土)のフリー走行は、事前の天気予報では晴天だったものの、どんよりとした曇り空で行われた。ただその後、当初の予報にはなかった雨が降り出し、一時強く降ったことから、路面はウエットコンディションとなってしまった。

その後すぐに晴れ間も出たことから、急速に路面が乾いていく難しいコンディションだったが、5分遅れでスタートしたAドライバー予選で井田が1分35秒013という好タイムを記録。「タイヤをうまく温められました」とST-X車両をも上回るタイムを記録する。

今回の公式予選はテスト的な要素を含み、通常とは異なりAドライバー予選の後、Cドライバー予選、D

ドライバー予選が行われた。Cドライバー予選では高橋が1分38秒041、さらにDドライバー予選ではこの週末初めてドライブした吉本大樹が走り、1分36秒609を記録した。午後4時25分から行われたBドライバーに出走した加藤は、すっかり乾いた路面のなかで1分34秒289を記録。合算で#47 アストンマーティンを上回り、クラスポールポジションを獲得した。



RACE

OCTOBER 22 [SUN] FINE / DRY



迎えた10月22日(日)の岡山国際サーキットは秋晴れとなり、午後1時30分からグループ1の決勝レースを迎えた。今回もスタートを務めたのは井田だ。

1周目、井田は#47 アストンマーティンの先行を許してしまうと、その後ややペースに苦しみ、少しずつギャップを広げられていってしまった。この岡山では#47 アストンマーティンのペースが良く、その差は20周を終えると9.569秒に。とはいえ、ここでいかに差を保つかレース後半に繋がってくる。井田は必死の走りで10秒以内にギャップを保ったまま、#47 アストンマーティンを追っていった。

井田は1時間10分以上の長いスティントをしっかりと走り切り、#47 アストンマーティンの1周後となる40周を終えてピットインを行う。ここで高橋にステアリングを託したが、#47 アストンマーティンはピット作業に時間がかかったことから、この間に高橋は#47 アストンマーティンを先行してみせる。

ただ、井田が序盤苦しんだのと同様、その後の高橋のペースが厳しい。「今日は良くなかった」と高橋が悔しがったように#47 アストンマーティンにふたたび

先行を許してしまうと、その差が拡大してしまった。

高橋はその後粘りの走り続け66周までこなしピットインすると、加藤に最後のスティントを任せた。一方の#47 アストンマーティンもアンカーにジェントルマンドライバーを起用するかと思われたが、展開もあってかDドライバーのプロを起用。さらにタイヤ交換を行わず、『勝ち』を狙う作戦を敢行してきた。

残り50分を切って、クラス首位は#47 アストンマーティン、そして2番手には24.490秒差で加藤が駆るシンティアム アップル KTM。加藤がどれほどギャップを縮めていけるか……!? レースは終盤に向けて息詰まる展開となっていた。

加藤はジワジワとそのギャップを縮めていき、3時間レースの残り30分となったところで、その差は10秒を切っていく。ストレート1本分だ。

その差を一気に縮めていった加藤は、残り23分となる94周目、ズバリと#47 アストンマーティンオーバーテイクする。ただこの頃、#47 アストンマーティンはパワステにトラブルを抱えており、その後ガレージインしてしまったことから、シンティアム アップル KTMの優勝が確定することになった。

最終的に#47 アストンマーティンがチェッカーのみを受け2位でフィニッシュしたことで、チャンピオン決定は最終戦に持ち越された。

完走すれば王座という優位で最終戦に臨めるが、チームは勝ってタイトルを決めるべく、全力を尽くす。



DRIVER COMMENTS



Taiyo IDA 井田 太陽

「序盤からライバルのスピードが速く、僕たちのペースもそこまで上げられることができませんでした。スティント後半ではもう少し追いつきたかったのですが、苦しかったですね。とはいえ、なんとか大きく差をつけられずに良かったです。結果的に勝てたのも良かったですね。あとは完走できればチャンピオンを獲れるとのことなので、気持ちとしてはかなり楽になりました。最終戦も頑張りたいと思っています」



Hiroki KATO 加藤 寛規

「今日は“負けたな”と途中までは思うくらいでしたが、結果的にあちらにトラブルがあったので、もう少し最後までちゃんとレースをしたかったですね。たとえ負けたとしても、レースを頑張ることが大事ですから。そういう意味では、井田選手も高橋選手もすごく頑張ってくれていたの、内容は悪いものではありませんでした。最終戦はクルマとの相性も良いと思うので、ミスなく勝てればと思います」



Kazuho TAKAHASHI 高橋 一穂

「勝てて良かったというのが本音でしたね。今回自分のスティントはぜんぜんダメでしたから（苦笑）。優勝できたのは本当にチームのみんなのおかげですね。それに尽きると思います。これでチャンピオン争いで優位に立つことができましたが、最終戦はここよりも我々に合っていると思います。完走すればチャンピオンだそうですが、そういう戦いはせずに、ちゃんとレースの優勝を目指して、勝って決めたいです」



Hiroki YOSHIMOTO 吉本 大樹

「今回ライバルがとても強く、決して楽な展開ではありませんでした。結果的に勝つことができましたが、ライバルが最後に無交換、プロを投入という勝つための戦いをしてきたので、最後までレースを戦いたかったですね。あちらの不運で勝つことができましたけど、この優勝は僕たちにとっては大きいと思います。チャンピオンは決まりませんでしたが、次戦も手を抜かず、しっかり勝ってタイトルを決めたいですね」





Round.6 RESULTS

Eneos SUPER TAIKYU Series 2023 Supported by BRIDGESTONE Round 6 SUPER TAIKYU RACE IN OKAYAMA 10.21-22

Eneos スーパー耐久シリーズ 2023 Supported by BRIDGESTONE 第6戦
スーパードラッグレース Gr.1 公式予選 C ドライヴ - 結果

順位	車番	クラス	ドライバー	車名	メーカー	タイム	Km/h	差	トップ差	
1	31	X	1	磯崎 亮	DENSO LEXUS RC F GT3	RC F GT3	1:31.790	145.232	5/5	
2	900	X	2	栗丸 功	SZIGEN GT-R GT3	NR500 GT-R GT3	1:31.855	145.129	8/10	0.065
3	81	X	3	藤本 幸平	DAISHUN GT-R GT3	NR500 GT-R GT3	1:32.855	144.813	7/10	0.265
4	23	X	4	中山 圭典	TKR&S&S BANG GT3	NR500 GT-R GT3	1:32.100	144.743	8/9	0.310
5	1	X	5	平本 悠次	HELM MOTORSPORTS GTR GT3	NR500 GT-R GT3	1:32.193	144.597	7/8	0.403
6	14	X	6	平野 耀	中井 ROOKIE AMG GT3	NR500 GT-R GT3	1:32.372	144.316	6/10	0.582
7	202	X	7	マナー リー	KCMG NSX GT3	NSX GT3	1:32.372	143.663	4/6	1.002
8	47	1	1	浜 健二	D'station Vantage GT8R	Vantage GT8R	1:37.062	137.343	6/9	5.272
9	22	2	1	山野 健二	Porsche 991 WAKAMATSU Cayman GT4 RS CS	Vantage GT8R	1:37.330	136.965	5/9	5.540
10	21	2	2	宮田 真樹	ペンチー-防衛防衛(ワンデー) Audi R8 LMS	R8 LMS GT4	1:37.402	136.864	5/9	5.612
11	34	2	3	安田 隆樹	SUN'S TECHNO Audi R8 LMS GT4	R8 LMS GT4	1:37.415	136.864	7/7	5.625
12	885	2	4	清水 英太郎	セイワレーシング GR SUPRA GT4 EVO	GR Supra GT4	1:37.946	136.104	7/9	6.156
13	2	1	2	藤原 一徳	シテイルムアツタ KTM	GT-X	1:38.841	135.972	8/8	6.251
14	111	2	5	藤原 一徳	BUZZ KR AMG GT4	AMG GT4	1:39.579	135.230	6/9	6.789
15	20	2	6	木本 博	ナゴヤ競艇TEAM IMPUL Z	Z GT4	1:39.794	134.940	7/7	6.994
16	75	2	7	大島 和也	Team Noah GR Supra GT4	GR Supra GT4	1:38.851	134.858	7/8	7.061
17	19	2	8	藤田 幸平	BRP*SUNRISE-Bivd718GT4RS	-----	1:39.265	134.295	7/8	7.475
18	52	2	9	藤原 健典	埼玉トヨタ GB GR Supra GT4	GR Supra GT4	1:40.194	133.050	9/9	8.404
19	271	SHQ	1	大津 弘樹	CVIC TYRE R CNF-R	CVIC TYRE R	1:42.840	128.627	7/8	11.050
97	T			三井 優介	Racer HPD CVIC	CVIC Type-R TDR	-----	-----	出定せず	

予選: 3:00-ST-0, X=ST-X, 2=ST-2, 1=ST-1DR, 1=ST-1
予選通過基準タイム (ST-X:1100) 41.091 (ST-2:1100) 47.121 (ST-1:1100) 47.307

参加台数: 21台 出走台数: 19台

大会競技長 計時委員長



Eneos SUPER TAIKYU Series 2023 Supported by BRIDGESTONE Round 6 SUPER TAIKYU RACE IN OKAYAMA 10.21-22

Eneos スーパー耐久シリーズ 2023 Supported by BRIDGESTONE 第6戦
スーパードラッグレース Gr.1 公式予選 C ドライヴ - 結果

順位	車番	クラス	ドライバー	車名	メーカー	タイム	Km/h	差	トップ差	
1	81	X	1	藤原 亮	DAISHUN GT-R GT3	NR500 GT-R GT3	1:32.701	143.804	2/12	0.101
2	14	X	2	内海 龍也	OFF ROOKIE AMG GT3	-----	1:32.803	143.648	8/11	0.101
3	47	1	1	シテイルムアツタ	D'station Vantage GT8R	Vantage GT8R	1:36.562	138.054	5/11	3.861
4	2	1	2	高木 大樹	シテイルムアツタ KTM	GT-X	1:36.609	137.987	4/5	3.908
5	52	2	1	川谷 孝治	埼玉トヨタ GB GR Supra GT4	GR Supra GT4	1:38.303	135.609	7/12	5.602
6	111	2	2	佐々木 孝太	BUZZ KR AMG GT4	AMG GT4	1:38.848	134.862	5/11	6.147
7	19	2	3	岩田 達也	BRP*SUNRISE-Bivd718GT4RS	-----	1:39.046	134.592	6/6	6.345
8	15	3	1	元崎 成弥	競艇防衛防衛(ワンデー) Audi R8 LMS	-----	1:41.194	131.735	5/7	8.493
9	16	3	2	小松 一広	競艇防衛防衛(ワンデー) Audi R8 LMS	-----	1:41.328	131.561	4/5	8.627
10	38	3	3	石塚 寛貴	セブチスチーク(ワンデー) RC350 TWS	RC350	1:43.172	129.209	3/11	10.471
11	61	SHQ	1	伊藤 和広	Team SGA Engineering BRP CNF Concept	BRP	1:44.194	127.942	2/11	11.849
12	39	3	4	藤原 健典	エフエムシー WINMAX RC350 TWS	RC350	1:44.840	127.154	5/8	12.139
13	86	4	1	坪田 勇	TOM'S SPRINT GR86	GR86	1:45.052	126.897	3/6	12.351
14	884	4	2	藤原 健一	セイワレーシング GR86	GR86	1:46.345	125.354	9/9	13.644
15	88	5	1	高田 健一郎	村上モータースMAZDA3-Rドライバー	MAZDA3-Rドライバー	1:52.999	118.392	4/4	19.898
16	120	5	2	中島 優太	藤原 MAZDA SPRINT RACING ROASTER	MAZDA3-Rドライバー	1:53.866	116.972	4/4	21.265
17	65	5	3	武部 孝志	odds TONE 競艇防衛(ワンデー)	MAZDA3-Rドライバー	1:54.266	116.665	2/4	21.665
18	37	5	4	野上 達也	DIXCEL(ワンデー)PROFIT	フィット	1:54.748	116.175	2/4	22.047
19	4	5	5	岡本 秀文	THE BRIDE FIT	フィット	1:55.850	115.069	2/2	23.149
20	17	5	6	野上 朝樹	DIXCEL(ワンデー)PROFIT	フィットドライバー	1:56.611	114.319	3/4	23.910
20	Z			藤野 一樹	ナゴヤ競艇TEAM IMPUL Z	Z GT4	-----	-----	出定せず	

予選: 3:00-ST-0, X=ST-X, 2=ST-2, 1=ST-1, 3=ST-3, 4=ST-4, 5=ST-5
予選通過基準タイム (ST-X:1100) 42.027 (ST-2:1100) 46.468 (ST-1:1100) 47.446 (ST-3:1100) 52.088 (ST-4:1100) 54.289 (ST-5:1100) 62.872

参加台数: 48台 出走台数: 20台

大会競技長 計時委員長



Eneos SUPER TAIKYU Series 2023 Supported by BRIDGESTONE Round 6 SUPER TAIKYU RACE IN OKAYAMA 10.21-22

Eneos スーパー耐久シリーズ 2023 Supported by BRIDGESTONE 第6戦
スーパードラッグレース Gr.1 決勝 【S T - 1】 正式結果

主催: 株式会社岡山国際サーキット(AC)
2023.10.22 発表: 天候: 晴れ コース状況: ドライ スタート時間: 13:33:03
フィニッシュ時間: 16:34:19
岡山国際サーキット 3.703km

Pos	No.	Car / Type	Lap	TotalTime	Behind	Gap	km/h	Driver	DriverBEST	Laps
1	2	シテイルム アップル KTM GT-X	109	3h01'58.637			133.080	A 井田 太陽 B 加藤 寛規 C 高橋 一穂 D 吉本 大樹	1'36.757	40/40
2	47	D'station Vantage GT8R Vantage GT8R	96	3h01'31.856	13 Laps	13 Laps	117.497	A 星野 辰也 B 織戸 学 C 浜 健二 D ジェイク パーソンス	1'37.296 1'36.500 1'37.737	17/37 4/39 13/20

----- 以上完走 -----

完走周回数 ST-1:76Laps

参加台数: 2台 出走台数: 2台
ベストラップ: 2 加藤 寛規 1'36.394 18/43 138.295km/h

審査委員長 大会競技長 計時委員長

